高速道路外から利用可能となっており、高速道路側からの利用とあわせ、年間約390万人が利用年に25回程度、地域物産展を開催し、「ばらのまち福山」にちなんだ商品等を販売





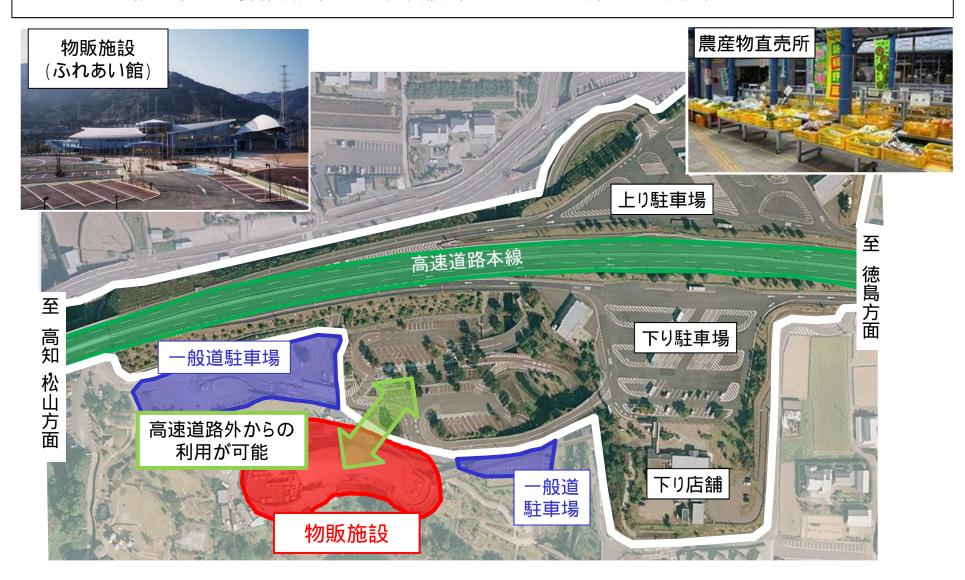
物産展



ウェルカムゲート

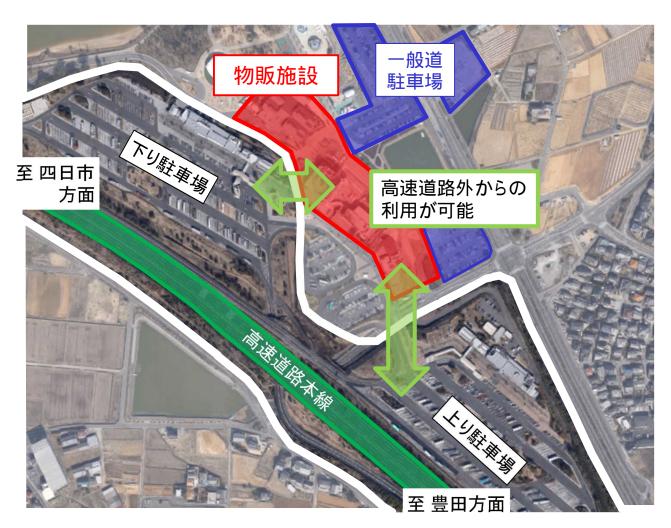
先進事例 徳島自動車道 吉野川サービスエリア(徳島県)

高速道路内から利用できる一般道側の物販施設(ふれあい館)は、年間約100万人が利用、また、高速道路外から利用できる吉野川サービスエリア(下り)の店舗は、年間約50万人が利用 ふれあい館では、ほぼ毎日、農産物直売所を開設し、すだちやゆず等、地元の農産物を販売



先進事例 伊勢湾岸自動車道 刈谷パーキングエリア(愛知県)

高速道路外から利用可能となっており、年間約840万人が利用(東海地区内で利用者数第一位) 土日祝日には、物販施設内の産直市場において、東海各地の市町村の特産品販売会や試食会を開催





物販施設 (刈谷ハイウェイオアシス)



産直市場